



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 フリュー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6238 U R L <https://www.furyu.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 雅仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部 部長 (氏名) 谷 直樹 T E L 03-5728-1761  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 32,655	% △3.0	百万円 2,912	% 41.8	百万円 2,892	% 37.7	百万円 1,872	% 33.2
2025年3月期第3四半期	33,674	3.5	2,054	△41.5	2,099	△40.0	1,405	△40.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,998百万円 (34.4%) 2025年3月期第3四半期 1,486百万円 (△37.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 70.71	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	53.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 28,324	百万円 23,394	% 82.6
2025年3月期	28,110	22,424	79.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 23,394百万円 2025年3月期 22,424百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 39.00	円 銭 39.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				39.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 45,000	% 1.6	百万円 3,000	% 34.0	百万円 3,000	% 31.5	百万円 2,150	% 32.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) フリュー・ピクチャーズ株式会社 、 除外 一社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	28,296,000株	2025年3月期	28,296,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	1,809,058株	2025年3月期	1,817,325株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	26,483,422株	2025年3月期 3Q	26,454,598株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託（BBT-RS）」が保有する当社株式（2026年3月期 3Q 110,828株、2025年3月期 120,000株）が含まれております。また、「株式給付信託（BBT-RS）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2026年3月期 3Q 114,663株、2025年3月期 3Q 120,000株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当四半期における我が国の景気動向について、12月の日銀短観では、緩やかな景気の持ち直しを反映して、大企業の景況感は3四半期連続で改善した一方、日中関係の悪化により、11月に中国政府が中国国民に対して日本への渡航自粛を要請するなど、インバウンド需要への影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況であります。

このような環境において当社グループは、企業理念「人々のこころを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する！」のもと、プリントシール事業の拡大、若年女性層に強みを持つ当社の顧客基盤を活用したマネタイズの多様化、キャラクターIP（知的財産）を利用した商品販売に注力し、2028年3月期を最終年度とする「中期ビジョン」実現に向けた取り組みを行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）の連結業績は、売上高は32,655百万円（前年同期比97.0%）、営業利益は2,912百万円（前年同期比141.8%）、経常利益は2,892百万円（前年同期比137.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,872百万円（前年同期比133.2%）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### (世界観ビジネス)

世界観ビジネスにおきましては、定番キャラクターや、人気漫画作品及び世界の人気ゲーム等のトレンドを踏まえた多数のIPの獲得とその商品化に引き続き注力し、売上は順調に拡大しました。

クレーンゲーム景品は、クレーンゲーム市場拡大と複数の人気IPの商品化に加え、商品数の拡大を図った結果、前年同期と同水準の売上となりました。

海外物販は、中国及び米国、欧州マーケットを中心に、売上が伸長しております。海外向けの商品化権の取得に注力し、商品構成を強化すると共に、新規チャネルの開拓を通じて、流通拡大を図っております。

高価格帯ホビーは、人気IPの商品化を推進し、収益性を重視しながら事業の安定化に引き続き注力しております。

為替変動に対しては、海外取引先とのドル建て取引を拡大し、合わせてドル建ての仕入費用支払に対する為替予約を実施することにより、売上原価への影響を抑制しております。

この結果、世界観ビジネスにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は20,559百万円（前年同期比107.4%）、営業利益は1,988百万円（前年同期比131.3%）となりました。

#### (ガールズトレンドビジネス)

プリントシール事業におきましては、新型コロナウイルス感染症がもたらしたライフスタイルやニーズの多様化といった外部環境の変化に対応するため、従来よりも「+αの価値」を体験できる新機種の開発や周年記念キャンペーンの実施などにより、プレイ数拡大を図りました。2025年11月には、友達との自然な笑顔や空気感をそのまま残せる7種類のカメラ風フィルターが選択できる機能搭載の新機種「YOUTH MY PALETTE（ユースマイパレット）」を発売しました。また、本年度はプリントシール機誕生30周年を記念して、市場を大きく盛り上げるため、プリントシール機の魅力を発信する様々な企画を展開しており、12月19日からは、30年間の歴史の中で好評だった「伝説のプリ機」が楽しめる特別企画「DEAR 令和&平成 ウチらの伝説プリ」をスタートしております。30周年企画には大きな反響があり、継続中のため、その効果は今後より大きくなると予想されるものの、当第3四半期連結累計期間のプレイ回数は2,005万回（前第3四半期連結累計期間は2,203万回）と前年同期比で減少しました。

プリントシール画像取得・閲覧サービス「ピクトリンク」におきましては、有料会員規模を維持するための新規入会者の流入強化施策を継続したものの、2025年12月末時点で125万人（2024年12月末時点は138万人）と前年同期比で減少しました。なお、2025年7月1日よりピクトリンクの有料会員コース体系をプレミアム会員コースに一本化し、サービスレベルと価格の統一を行うことで、収益力の改善を図っております。

この結果、ガールズトレンドビジネスにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は10,214百万円（前年同期比91.8%）、営業利益は2,595百万円（前年同期比102.3%）となりました。

#### (フリューニュービジネス)

家庭用ゲームソフト事業につきましては、11月に新作タイトル「ベイブレードエックス エボバトル」と「Model Debut4 #nicola／モデルデビュー4 ニコラ」を発売し、売上の積み上げを図ましたが、前年同期比で売上は減少しました。

アニメ事業は、7月に出資タイトル2作品と10月に幹事タイトル1作品の放映を開始、11月には東京にて、「ゆるキャン△」原作10周年記念展を開催するなど、新旧リリースタイトルの収益化を推進しております。

なお、カラーコンタクトレンズ事業の事業譲渡とゲームアプリ事業のサービス終了により、前年同期比でセグメントの収益性は改善しております。

この結果、フリューニュービジネスにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は1,881百万円（前年同期比55.3%）、営業損失は95百万円（前年同期は320百万円の営業損失）となりました。

## （2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が28,324百万円、負債が4,930百万円、純資産が23,394百万円となりました。また、自己資本比率は82.6%となりました。

### （資産）

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ214百万円増加し、28,324百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加942百万円、棚卸資産の増加482百万円、無形固定資産の増加201百万円があった一方で、現金及び預金の減少505百万円、流動資産のその他の減少371百万円、有形固定資産の減少441百万円、投資その他の資産のその他の減少132百万円があったことによるものであります。

### （負債）

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ756百万円減少し、4,930百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加585百万円、賞与引当金の増加172百万円があった一方で、買掛金の減少110百万円、電子記録債務の減少690百万円、流動負債のその他の減少734百万円があったことによるものであります。

### （純資産）

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ970百万円増加し、23,394百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加1,872百万円、繰延ヘッジ損益の増加143百万円があった一方で、配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,037百万円があったことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	11,733,051	11,227,764
受取手形及び売掛金	4,103,294	5,045,756
電子記録債権	1,044,899	1,080,981
棚卸資産	2,912,342	3,394,907
その他	2,604,839	2,233,364
貸倒引当金	△5,246	△3,111
流动資産合計	22,393,180	22,979,662
固定資産		
有形固定資産	2,940,927	2,499,599
無形固定資産	971,048	1,172,197
投資その他の資産		
その他	1,821,969	1,689,683
貸倒引当金	△16,650	△16,585
投資その他の資産合計	1,805,319	1,673,098
固定資産合計	5,717,295	5,344,894
資産合計	28,110,476	28,324,557
<b>负债の部</b>		
流动負債		
買掛金	659,006	548,025
電子記録債務	714,657	24,462
未払法人税等	62,306	647,329
賞与引当金	—	172,344
受注損失引当金	44,319	11,197
その他	3,881,791	3,147,580
流动負債合計	5,362,082	4,550,939
固定負債		
役員株式給付引当金	8,686	8,435
退職給付に係る負債	309,728	361,269
その他	5,945	9,487
固定負債合計	324,360	379,192
負債合計	5,686,442	4,930,131
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,639,216	1,639,216
資本剰余金	1,614,716	1,614,716
利益剰余金	21,098,548	21,933,804
自己株式	△1,949,562	△1,940,349
株主資本合計	22,402,918	23,247,387
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△48,656	94,863
為替換算調整勘定	23,972	5,762
退職給付に係る調整累計額	45,798	46,413
その他の包括利益累計額合計	21,115	147,039
純資産合計	22,424,034	23,394,426
負債純資産合計	28,110,476	28,324,557

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	33,674,734	32,655,402
売上原価	20,603,159	19,502,195
売上総利益	13,071,575	13,153,207
販売費及び一般管理費	11,017,529	10,240,405
営業利益	2,054,046	2,912,801
営業外収益		
受取利息	36	161
為替差益	35,845	—
助成金収入	2,107	458
投資事業組合運用益	8,138	—
還付消費税等	0	366
その他	4,720	314
営業外収益合計	50,847	1,300
営業外費用		
支払利息	385	104
為替差損	—	13,431
支払補償費	4,089	1
投資事業組合運用損	—	1,920
解約違約金	87	4,905
その他	581	1,645
営業外費用合計	5,143	22,008
経常利益	2,099,750	2,892,093
特別利益		
固定資産売却益	1,581	—
特別利益合計	1,581	—
特別損失		
固定資産除売却損	682	4,831
減損損失	—	94,897
特別損失合計	682	99,728
税金等調整前四半期純利益	2,100,649	2,792,365
法人税等	694,808	919,760
四半期純利益	1,405,840	1,872,604
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,405,840	1,872,604

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,405,840	1,872,604
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	85,534	143,519
為替換算調整勘定	△6,380	△18,210
退職給付に係る調整額	1,706	614
その他の包括利益合計	80,860	125,923
四半期包括利益	1,486,700	1,998,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,486,700	1,998,528

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、新設分割により設立したフリュー・ピクチャーズ株式会社を連結の範囲に含めています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,750,836千円	1,574,560千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	世界観ビジネス	ガールズトレンドビジネス	フリューニュービジネス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,142,901	11,131,279	3,400,553	33,674,734	—	33,674,734
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	19,142,901	11,131,279	3,400,553	33,674,734	—	33,674,734
セグメント利益又は損失 (△)	1,514,297	2,536,851	△320,720	3,730,428	△1,676,382	2,054,046

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,676,382千円には、セグメント間取引6,600千円、各報告セグメントに分配していない全社費用△1,682,982千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	世界観ビジネス	ガールズトレンドビジネス	フリューニュービジネス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,559,290	10,214,925	1,881,186	32,655,402	—	32,655,402
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	—	32	38	△38	—
計	20,559,296	10,214,925	1,881,218	32,655,441	△38	32,655,402
セグメント利益又は損失 (△)	1,988,151	2,595,614	△95,398	4,488,367	△1,575,566	2,912,801

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,575,566千円には、セグメント間取引25,666千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,601,232千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (固定資産に係る重要な減損損失)

「ガールズトレンドビジネス」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては94,897千円であります。

## (のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## (重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。